

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2001-56939 (P2001-56939A)
 【公開日】平成 13 年 2 月 27 日 (2001.2.27)
 【出願番号】特願 平 11-233241
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/005 (2006.01)

G 1 1 B 11/105 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/005 B

G 1 1 B 11/105 5 5 3 C

G 1 1 B 11/105 5 8 1 G

G 1 1 B 11/105 5 8 6 L

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 10 日 (2006.3.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録層と再生層とを有する記録媒体に光ビームを照射して再生層に光ビームの照射範囲より小さな検出窓を開くことにより記録層の記録情報を読み出す情報再生装置において、

上記記録媒体に記録形成された孤立マークの再生波形のサンプル値に基づいて解像度を検出する解像度検出手段と、

上記解像度の基準値を出力する基準値出力手段と、

上記解像度が上記基準値に近づくように上記検出窓の大きさを制御する再生制御手段と

、

を有することを特徴とする情報再生装置。

【請求項 2】 上記再生制御手段は、上記記録媒体に照射する光ビームの再生パワーを制御することを特徴とする請求項 1 記載の情報再生装置。

【請求項 3】 上記再生制御手段は、さらに、上記再生波形のイコライズ制御を行うことを特徴とする請求項 2 記載の情報再生装置。

【請求項 4】 上記解像度検出手段は、上記孤立マークのピーク近傍のサンプル値 Y とこれに隣接するサンプル値との差の値 X を、上記ピーク近傍のサンプル値 Y で除算した値 X/Y に基づいて解像度を検出することを特徴とする請求項 1 記載の情報再生装置。

【請求項 5】 上記基準値出力手段は、上記再生信号のデータ検出時にジッタあるいはエラーレートが最小となる時の上記値 X/Y を上記基準値として出力することを特徴とする請求項 4 記載の情報再生装置。

【請求項 6】 上記基準値出力手段には、上記記録媒体のローディング時、又は定期的に、上記基準値が設定されることを特徴とする請求項 1 記載の情報再生装置。

【請求項 7】 記録層と再生層とを有する記録媒体に光ビームを照射して再生層に光ビームの照射範囲より小さな検出窓を開くことにより記録層の記録情報を読み出す情報再生装置において、

上記記録媒体から再生された再生信号の平均レベルと飽和レベルとに基づいて解像度を検出する解像度検出手段と、

上記記録媒体に記録形成された孤立マークの再生波形の信号レベルに基づいて解像度を検出する解像度検出手段と、

上記解像度の基準値を出力する基準値出力手段と、

上記解像度が上記基準値に近づくように上記検出窓の大きさを制御する再生制御手段と

、
を有することを特徴とする情報再生装置。

【請求項 8】 上記再生制御手段は、上記記録媒体に照射する光ビームの再生パワーを制御することを特徴とする請求項 7 記載の情報再生装置。

【請求項 9】 上記再生制御手段は、さらに、上記再生波形のイコライズ制御を行うことを特徴とする請求項 8 記載の情報再生装置。

【請求項 10】 上記解像度検出手段は、上記再生信号の飽和レベル Y と、上記再生信号の平均レベル X との比 X/Y に基づいて解像度を検出することを特徴とする請求項 7 記載の情報再生装置。

【請求項 11】 上記基準値出力手段は、上記再生信号のデータ検出時にジッタあるいはエラーレートが最小となる時の上記値 X/Y を上記基準値として出力することを特徴とする請求項 10 記載の情報再生装置。

【請求項 12】 上記基準値出力手段には、上記記録媒体のローディング時、又は定期的に、上記基準値が設定されることを特徴とする請求項 7 記載の情報再生装置。

【請求項 13】 記録層と再生層とを有する記録媒体に光ビームを照射して再生層に光ビームの照射範囲より小さな検出窓を開くことにより記録層の記録情報を読み出す情報再生方法において、

上記記録媒体に記録形成された孤立マークの再生波形のサンプル値に基づいて解像度を検出する解像度検出工程と、

上記解像度の基準値を出力する基準値出力工程と、

上記解像度が上記基準値に近づくように上記検出窓の大きさを制御する再生制御工程と

、
を有することを特徴とする情報再生方法。

【請求項 14】 上記解像度検出工程は、上記孤立マークのピーク近傍のサンプル値 Y とこれに隣接するサンプル値との差の値 X を、上記ピーク近傍のサンプル値 Y で除算した値 X/Y に基づいて解像度を検出することを特徴とする請求項 13 記載の情報再生方法。

【請求項 15】 記録層と再生層とを有する記録媒体に光ビームを照射して再生層に光ビームの照射範囲より小さな検出窓を開くことにより記録層の記録情報を読み出す情報再生方法において、

上記記録媒体から再生された再生信号の平均レベルと飽和レベルとに基づいて解像度を検出する解像度検出工程と、

上記記録媒体に記録形成された孤立マークの再生波形の信号レベルに基づいて解像度を検出する解像度検出工程と、

上記解像度の基準値を出力する基準値出力工程と、

上記解像度が上記基準値に近づくように上記検出窓の大きさを制御する再生制御工程と

、
を有することを特徴とする情報再生方法。